

特別支援学級 1 組 自立活動 学習指導案

日時 令和 5 年 1 月 16 日 (月) 第 2 校時
 場所 支援 1 組 教室
 指導者 教諭 木場 雪香

1 題材名 他者との基礎的な関わりを育む学習 (人間関係の形成・コミュニケーション)

2 (1) 共通の目標 ①他者と関わり合い、課題に取り組むことができる。

②他者に合わせて行動を調整することができる。

3 学習指導過程

学習活動	児童の活動 (○) 支援 (・) 評価の視点 (※)						時間
	A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	F 児	
1.挨拶をする。	○みんなと一緒にあいさつをする。 ・足はぺったん、背中はぴんの姿勢を意識するように声掛けする。 ・教師と目を合わせるように事前に声掛けをする。 ・最初は机上での活動は無いので、椅子のみ 1 列に並べるようにする。						5 分
2.学習内容を知る。	○前時の学習内容を確認しながら、本時の学習内容と活動の流れを知り、活動への見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> かだい ともだちやせんせいと ちからを あわせよう </div> ①はじめようのうた (教師との関わり) ②ペア体操 (ペアでの関わり) ③ボールまわし (教師・クラスでの関わり) ④すきなのだっち? (クラスでの関わり) ⑤ごほうびタイム (教師との関わり) ○個人のめあてを確認し、どの目標を重視するか選ぶ。 ・発語が難しい児童は、指差し等で示させる。						
3.教師と 1 対 1 ではじめようの歌に取り組む。	○課題① はじめようの歌 ・1 回目はタンバリンがランダムに回ってくるので、タンバリンをよく見ること、歌のタイミングに合わせて 2 回叩くことを確認する。 ・2 回目は名前を呼ばれるので、教師の呼ぶ名前をよく聞くことを確認する。 ・できたら、1 人ずつハイタッチをして賞賛する。						3 分
	・必要に応じて練習を入れる。 ※教師と一緒に課題に取り組むことができたか。	・集中が切れてしまった場合は、注意を引いてから始める。	・集中が切れてしまった場合は、注意を引いてから始める。	・集中が切れてしまった場合は、注意を引いてから始める。	・反応が無い場合は反応があるまで基本的に待つ。 ※教師と一緒に行動することができたか。	・集中が切れてしまった場合は、注意を引いてから始める。	
4.ペアで体操に取り組む。	○課題② ペア体操 ・椅子が必要ないため、教室後方に片づけるよう声掛けをする。 ・足音や他児を踏んでしまった際にけがに繋がらないよう上履きを脱ぎ、上履きゾーンにおくよう環境整備及び声掛けをする。 ・力加減が難しい児童がいるため、体操を始める前に教師とどのくらいの力加減が良いか一人一人確認をする。						10 分

<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどいい力加減でできたら、賞賛し、ペア体操での自信に繋げる。 ○「ペア体操」の動画に合わせてペアで活動に取り組む。 					
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて教師とペア体操に取り組む。 ※教師と一緒に行動を調節しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師との練習場面でいい力加減ができたか、ハイタッチ等を用いて賞賛し、自信に繋げる。 ※クラスメイトに合わせて、行動を調整しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画に合わせて活動に取り組んでいる際には賞賛し、更なる活動意欲を高める。 ※他者に合わせて行動を調節することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A児とペアを組ませるが、A児の反応によっては、E・F児と3人で活動に取り組ませる。 ※クラスメイトの意図や感情を考え、行動を調整しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ハンドサイン等を用いて指示を出す。 ・教師との練習場面でいい力加減ができたか、ハイタッチや○マークを用いて賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・力が強すぎることやくっついて離れない等があれば、事前の学習を想起させるよう声掛けをする。 ※他者が不快にならないように、行動を調整しようとしたか。

5. クラスみんなでボールまわしに取り組む。

<ul style="list-style-type: none"> ○課題③ ボールまわし ・活動を始める前に上履きを履くように声掛けをする。 ・顔写真やケンステップを用いて1列に並ぶように指示する。 ○C児→D児→A児→教師→E児→B児→F児となるように並ぶ。 ○ボールは上、下、右、左の順で回していく。 ・右、左は方向が分からない児童がいるため、黒板に右と左を書いておく。 ・相手の手に渡すことを練習し、確認する。 ・前回の記録を書いておき、前回よりタイムが短くなったか、長くなったかを確かめる。 					
---	--	--	--	--	--

A児	B児	C児	D児	E児	F児
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてもう一度取り組ませたり、寄り添ったりする。 ※教師と一緒に行動を調節しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の長さについて学習しているので、タイムが長くなったか短くなったかを尋ねる。 ※クラスメイトに合わせて、行動を調整しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の長さについて学習しているので、タイムが長くなったか短くなったかを尋ねる。 ※他者に合わせて行動を調節することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の長さについて学習しているので、タイムが長くなったか短くなったかを尋ねる。 ※クラスメイトの意図や感情を考え、行動を調整しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭での指示では通らないこともあるので、身振り等も交えて支援する。 ※教師と一緒に行動することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を始める前に深呼吸をさせたり、ボールを手に置いたりすることを再度確認する。 ※他者が不快にならないように、行動を調整しようとしたか。

6. クラスみんなですきなのどっちゲームを行う。

<ul style="list-style-type: none"> ○課題④ すきなのどっち? ・活動を始める前にローテーブルを前方に持ってくるように伝える。 ○順番にカードを山札から1枚ずつ取り、2択から1つを選択する。 ・選択ができたか、教師が全体に共有する。 ・自分と同じ意見か違う意見かを尋ねる。 					
--	--	--	--	--	--

8分

10分

	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がA児の傍に座り、順番を待つことを声掛けしたりする。 ・待つことができたなら、賞賛する。 ※教師と一緒に課題に取り組むことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由まで話すように声掛けする。 ・理由を話すことができたなら、賞賛し、自信をもたせる。 ※自信をもって他者と関わり合うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を詳しく話すように声掛けする。 ※他者の意図や感情を考え、課題を楽しむことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を話せるように、視覚支援を用いながら話をさせる。 ※言語を用いて自信を持って他者と関わり合うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指差しや視線で1つを選択する。必要に応じて教師の発音を繰り返させる。 ※他者に意思を示そうとすることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を話せるように、気持ちや情景等の言葉を見せながら話をさせ、自分と同じ意見か違う意見かを尋ねる。 ※言語を用いて他者と関わり合うことができたか。 	
7.ご褒美課題を選択する。 (回転椅子、トランポリン等)	<p>○課題⑤ ごほうびタイム</p> <p>○回転椅子かトランポリンのどちらがやりたいか選択させる。</p> <p>・回転椅子を回す際や、トランポリンを跳ぶ際は必ず教師と共に進行。</p>						6分
	A児	B児	C児	D児	E児	F児	
	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に終わりが分かるように、マグネットを用いる。 ※教師と一緒に行動を調整しようとすることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどちらが良いか、回数は何回が良いか答えさせる。 ・一緒に回数を数えるように声掛けをする。 ※自信をもって他者と関わり合うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどちらが良いか、回数は何回が良いか答えさせる。 ・一緒に回数を数えるように声掛けをする。 ※他者の意図や感情を考え、課題を楽しむことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどちらが良いか、回数は何回が良いか答えさせる。 ・一緒に回数を数えるように声掛けをする。 ※言語を用いて自信を持って他者と関わり合うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を見せたりして、どちらが良いか選択させる。 ・視覚的に終わりが分かるように、マグネットを用いる。 ※他者に意思を示そうとすることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどちらが良いか、回数は何回が良いか答えさせる。 ※言語を用いて他者と関わり合うことができたか。 	
8.本時の振り返りと挨拶をする。	<p>○本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した目標を重視して取り組むことができたか確認し、頑張りを賞賛する。 <p>○日直の号令で終わりの挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援(・)は「1.挨拶をする」に同じ。 						3分